

松橋耳鼻咽喉科・内科クリニック

耳鼻咽喉科・内科



松吉 秀武 院長

最近知られるようになった めまい「前庭性発作症」は、 適切な診断が改善の鍵

「前庭性発作症」とはどのような病気ですか。

2016年に診断基準が策定され、これまであまり知られていなかっためまい疾患の一つです。頭蓋内で脳幹部から出ている第8脳神経（聴神経）が血管に圧迫されることで発症するといわれています。

「どんな特徴がありますか。」

めまい発作は突然起こり、時間が非常に短いのが特徴です。1分以内の短時間で強い回転性、または非回転性のめまい発作が繰り返し起こり、耳鳴りや耳の過敏症状などを伴うことがあります。同じような頭位変換によって発症する短い時間のめまいには「良性発作性頭位めまい症」があります。他にも症状が類似する原因疾患があるため、しっかりと診断することが重要です。

診断法は。

診断基準は①少なくとも10回の回転性あるいは非回転性のめまい発作を繰り返す②持続時間は1分以内③めまい発作に伴う特徴的な脳神経症状が存在する④抗てんかん剤「カルバマゼピン」の服用で

効果が見られる⑤他の疾患では病態の説明ができない⑥の五つです。また、MRI検査も診断の参考になり、多くの場合で聴神経に対する血管の圧迫が見られます。

治療法は。

前庭性発作症によるめまいには、通常めまい薬では効果が弱く、てんかんにも使用される、神経の興奮を抑制するカルバマゼピンという薬剤が有効とされています。病名が広く認知されていないため見過ごされることも多いようです。適切な診断が治療に結び付くため、気になる方は専門医にご相談ください。

DATA

〒869-0503

宇城市松橋町きらら2-2-15

☎0964(33)4133

診 9時～13時、14時～18時

（土曜日は9時～13時、14時～16時）

休 日曜、祝日 ※月1回日曜診療あり（8時～12時）

HP <https://www.matsubase-cl.com/>

